

# 働き方改革を支えるIT基盤やサービスを運用やガバナンスも含めトータルに提供

約30万人の従業員を擁する日立グループでは、働き方改革の進展に合わせ、常に最新クラスのITを導入し、時間や場所に制約されないグローバルなIT環境を拡充してきました。そこで培ったセキュリティや運用ノウハウ、ITガバナンスのあり方も含めて、日立は働き方改革を支える安心かつ強固なIT基盤とサービスをお客さまにも幅広く提供しています。

## 働き方改革の進化とともにIT環境を拡充

日立グループはグローバル市場での成長実現に向け、時間や場所にとらわれない働き方「タイム&ロケーションフリーワーク」を推進しています。そのためにテレワークやサテライトオフィス、出張先でも生産性の高い働き方が実現できるよう、業務要件に合わせたスマートデバイスやシンクライアントなどの提供、常に職場と情報共有できるコミュニケーション基盤の構築、セキュリティと利便性を両立させたネットワーク・認証基盤やVDI<sup>\*1</sup>の構築・運用などに取り組んできました。

柔軟な働き方を支えるインフラとして、近年急速に普及してきたテレワークですが、日立がその環境構築を手がけた歴史は、今から20年以上も前の1996年にまでさかのぼります。前例がほとんどない時代から、日立は手探りの状態でテレワーク環境の構築をスタート。2002年からは外出先でも情報を漏えいさせないシンクライアントを導入し、2004年以降は、ITガバナンス強化に向けたIT環境の全社的な統合や、ペーパーレス/フリーアドレス化、Web会議システムなどに代表されるワークスタイル改革を加速させ、先達ならではの失敗や試行錯誤を繰り返しながら、さまざまな知見とノウハウを蓄積してきました。

<sup>\*1</sup> Virtual Desktop Infrastructure

## 実績ある日立のIT基盤やサービスをお客さまにも提供

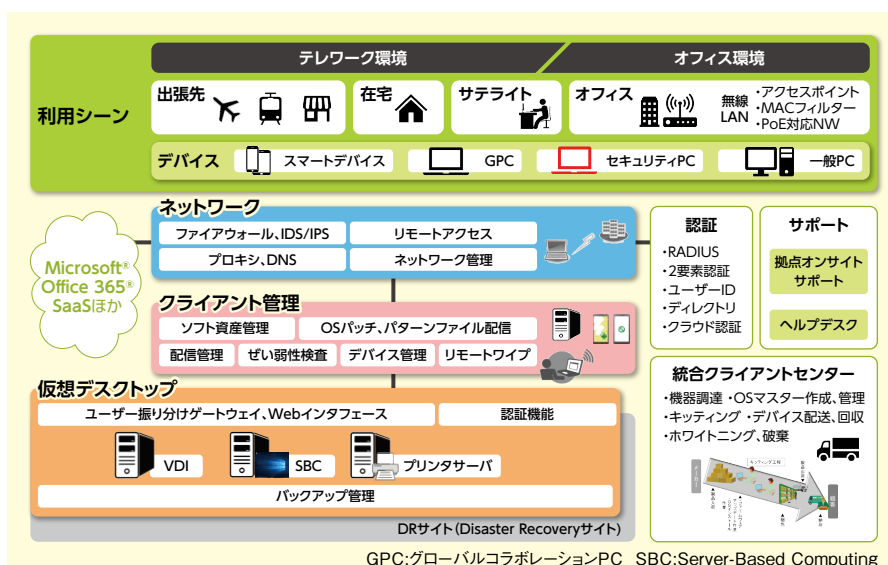
働き方改革を支援するインフラでは、グローバルレベルでの高度なセキュリティと利便性を担保する「ネットワーク」「認証」「仮想デスクトップ」基盤の構築に加え、ユーザーに寄り添う「サポート/ヘルプデスク」体制の整備、社内制度に則した運用ルールやガイドラインの策定といった「ITガバナンス」の強化も不可欠な要素となります。

また、タブレット端末やスマートフォン、モバイルPCなど、多種多様なITデバイスをオープンなネットワーク環境で利用するため、ソフト資産管理やOSパッチ、配信管理など複雑な要素が絡み合う「クライアント管理」、端末の調達・導入・運用・廃棄

までのライフサイクルを、どう管理・運用していくかに悩む企業も少なくありません。

そこで日立は、長年にわたる実運用で培った経験とノウハウを活かし、働き方改革を下支えする多彩なIT基盤やサービスをお客さまにも提供しています。

業務に最適化されたクライアント環境の検討・導入・運用をワンストップでコーディネートする「仮想ワークスペース トータルソリューション」、膨大な端末をライフサイクル全般にわたって一括管理する「統合クライアントサービス」、パターン化された構築済み環境を提供する「VDI基盤サービス」などがその一例です。お客さまの要望に応じて、さまざまなIT環境の導入・構築・運用をトータルに支援します。



日立の働き方改革を支えるIT基盤をお客さまにも提供

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 システム&サービスビジネス統括本部  
[http://www.hitachi.co.jp/ws\\_sol/](http://www.hitachi.co.jp/ws_sol/)